

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	2型自然リンパ球による特発性間質性肺炎発症機構の解明
研究代表者	茂呂 和世 (国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・ チームリーダー) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	本研究は、2型自然リンパ球（ILC2）が関与する新たな特発性間質性肺炎（IPF）モデルマウスを使って、IPFの病態解明を目指すものであり、ヒト臨床検体を使った解析も計画されている。シングルセルレベルでの解析は、病態解明の新たな突破口となることが期待できる。また、IPFの原因は不明であるが、本研究によって、その病態解明、治療法開発にブレイクスルーをもたらす可能性がある。応募者が世界的に ILC2 研究をリードしていることから、卓越した研究成果を上げることが期待できる。